

ハンドボール

(財) 日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 20

No. (16名用)

スローオフチーム 石川県

A	石川県	熊本県	B
---	-----	-----	---

19 確認サイン

11 12
8 8

20 確認サイン

A 荷川 義浩 7m TC

B 岡崎 恭代

大会名	第47回国民体育大会 ぎふ清流国体		
平成24年	10月9日(火)	場所	FB交流会館
種別	成年	男(女)	男(女)
回戦	第	回戦	準決(決) リーグ

A 石川県	警告	退場	失点	チームタイムアウト			
				前半	後半		
役員A 荷川 義浩				11	00	28	26
役員B 北園 克彦							
役員C 儀 大輔				得点			
役員D 木村 慎之介				前半	後半	合計	
1 寺田 三友紀							
2 若泉 春香							
3 翁長 和佳子							
4 上野 史織			正	T		7	
5 八十島 智美			T			2	
6 石野 実加子	/						
7 若松 里佳				T		3	
8 小野澤 香理	/					2	
9 横嶋 かおる				F		4	
10 後藤 千渡世						1	
11 翁長 茉莉枝							
12 田代 ちさみ							
合計	2	0	0	11	8	19	

B 熊本県	警告	退場	失点	チームタイムアウト			
				前半	後半		
役員A 岡崎 恭代				20	20	18	49
役員B 黄 慶泳						24	57
役員C 高橋 正忠				得点			
役員D 橋本 洋一郎				前半	後半	合計	
1 藤間 かおり							
2 藤井 紫緒			正	T		6	
3 前田 奈美						7	
4 澤田 智美	/					7	
5 若 加理奈							
6 東濱 裕子	/			T		3	
7 勝達 智恵	/					2	
8 石立 真佐子	/			F		4	
9 吉田 薫							
10 稲葉 由衣							
11 永田 ぶり			正			4	
12 山中 絵里奈							
合計	3	1	0	12	8	20	

タイムキーパー 山田 駿介 スコアラー 田代 賢

マンネンサイン 河城 延 田代 賢

前半				後半			
A	結果	得点	時間	B	結果	得点	時間
		0	52	1	11	4	0
		3	34	2	11		
4	0	1	4	30	W	4	8
		6	30	3	2		
5	2	7	57			7	13
6	W	8	31				11
		10	22	4	0	2	7
10	3	11	10			4	0
		13	39	5	6		
5	4	14	24			9	16
		15	01	6	8		
		15	49	W	6	8	17
①		17	10			9	18
8	5	18	35				23
		19	48	W	8	9	19
		20	20	①			24
		20	41	7	11		25
		21	41	8	4	①	26
		23	08	9	7		28
7	6	24	33				29
		25	12	10	11		29
4	7	25	25				58
4	8	26	04				20
		26	44	11	2		
		27	54	12	2		
9	9	28	22				
		28	55	S	6		
4	0	10	29	06			
4	11	29	19				
11				12			

特記事項

ハンドボール

結果報告

No. 19

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月9日 (火)	試合記号	Es	回戦	決勝
種別	成年女子	会場	下呂市交流会館		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
石川県			熊本県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
19	11	前半	12	20	
	8	後半	8		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 川瀬 善孝

決勝は圧倒的強さでここまで勝ち抜いてきた優勝候補同士、石川県が連覇、熊本県が2年振りのタイトル奪還を掛け、熱い闘いが予想される前回大会決勝と同一カードとなった。石川県のスローオフで試合開始。先制は熊本県11番永田がポストシュートで2点。石川県4番上町がカットインプレーによる7mスローを決める。熊本県2点リードのまま15分経過。なんとか流れを変えたい石川県。タイムアウトを取るが熊本県の堅いディフェンスをなかなか突破できない。一方、熊本県は自身のタイムアウト後3点連取し、点差を広げるが石川県4番上町の気迫あるプレーで食い下がる。熊本県2番藤井の切れ味鋭いロングシュートで突き放すが、終盤石川県が3連続得点し、前半を熊本県12対11の1点リード折り返す。

後半開始早々、石川県が同点に追いつき一気に波に乗りたいが、ここから終了まで、まさに決勝に相応しい一進一退の状態。両チームの繰りなす激しい攻防は、手に汗握る観衆を魅了した。熊本県6番東濱、11番永田、8番石立の得点で先行すれば石川県は7番若松、4番上町、9番横嶋が応酬。熊本県ゴールキーパー藤間は途中負傷退場し、ついでゴールを守った12番山中、石川県のゴールキーパー12番田代の再三のファインセーブが光った。試合残り時間1分までこの一進一退の状態が続き、19対19となる。両チーム最後の攻撃チャンスにタイムアウトを取り合う。先に攻撃した石川県4番上町のシュートを阻止した熊本県が、残り3秒でタイムアウトをとる。熊本県のフリースロー、石川県ディフェンスの高い壁、熊本県2番藤井のサウスポーが唸る。「ピピー」石川県ゴールのネットが揺れる。熊本県の勝利を決した劇的シュートで試合終了。20対19。

連覇を目指し、最後まで気迫あるプレーを見せた石川県選手に観衆は惜しめない拍手を送った。熊本県は2年振りに日本一の座を奪還した。会場に詰めた大観衆に、夢と希望と感動を与えた両チームに感謝したい。